

より七日と社家系範記と安全の祈禱を八  
月十五日多礼氏子へ神輿獅子隊を渡すと

一院内館又根柢丸

十二黨の因なり古代仁が保徳代へ居住を  
られし館社とを山城なり後太平記奥州  
關の条下に仁が保とありは是なりとを没  
落の年記詳なりとを義光相傳と云の法將  
山形加勢此条下に仁が保を居る八十五人  
とあり是は義長又年の事なり付説を拠と  
せば此記と尚館より居住をされたりや

又山平宗依が家の記は

移り世の形や見きり花の色

といふる有りあきに仁が保舊記を見て  
と有り宗依の家記を書くころは義長十五六  
年の事なり二説を合て考へに仁が保の  
没落は義長の中頃なり——言上は日野  
備仲を敵但馬友人を以て尚那を捨地—  
めい—性面より仁が保家の領なり—元和  
九年以後の事は汝城の条下に記を

一七三 山平権現